

(様式1)

青森県立保健大学と団体との協働事業令和元年度協働事業評価シート

■協働事業概要【公開】

事業名	産後デイケア事業(「マタママパパベビーの場所 スロウ」)
大学担当教員/課	看護学科 准教授 佐藤愛 / 地域連携推進課
団体	NPO 法人子育てオーダーメイド・サポートこもも
事業内容	<p>【事業目的】 少子化対策、子どもの虐待防止、育児不安の軽減及び子育て家庭のつながりを構築するため、家庭の中で育児を中心に担う母親を対象に、次のことを目的に事業を実施する。</p> <p>①母親同士の交流の場の確保、母親の育児による孤立化の予防と改善 ②母親が我が子を安心して預け休息できる場を確保することによる育児不安の軽減と解消 ③赤ちゃんの成長、育児に関する母親の知識習得の促進</p> <p>【内容】 (1)事業名 産後デイケア事業 (2)事業内容 ①妊婦及び産後6か月未満までの赤ちゃんを持つ母親を対象に、5～9月は毎週金曜日10時00分～14時00分、10～3月は毎週1回、物理療法学実習室(B310)で「マタママパパベビーの場所 スロウ」を開催する。「マタママパパベビーの場所 スロウ」では、母親同士の交流や赤ちゃんを見ること、休憩など、自由に行動できるようにする。 ②年4回、専門講師を招聘し、育児に関する知識の習得ができる講座を開講する。</p>
実施(契約)期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日 【継続事業(新規事業)】
予算額	<p>【NPO 法人子育てオーダーメイド・サポートこもも負担】 スタッフ人件費:126,000円(運営スタッフ)</p> <p>【県立保健大学負担】 負担金 131,000円 (内訳) 謝金:19,000円(専門知識講座) 交通費:69,000円(専門知識講座 講師旅費(京都-青森1泊2日)) 印刷製本費:30,000円(チラシ印刷) 消耗品費:5,000円(一式) 通信運搬費:8,000円(82円×100件)</p>
実績 (※事業継続中の場合は、12月1日時点の実績を記載)	別紙参照

(様式1)

■プロセス評価【公開】(実施中の場合は、12月1日時点での評価)

※下記の項目について、該当する番号を評価欄に記入してください。

評価… A:よくできた B:ある程度できた C:あまりできなかった D:できなかった E:該当しない

「E」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

		評価欄		
		団体	大学	
事業実施前	1	協働で事業を実施する目的を両者で確認したか。	B	A
	2	事業の成果目標を協議のうえ決定したか。	B	A
	3	具体的な企画内容や実施内容を協議のうえ決定したか。	B	A
	4	事業を進めるための役割分担を協議のうえ決定したか。	B	A
	5	成果物(著作物)の帰属や公表、また、その活用の方法について協議したか。	B	B
事業実施段階	6	事業の進捗状況や必要な情報について共有化できたか。	B	B~C
	7	相手の得意な分野や弱い分野を理解し、協力し合いながら事業を進めることができたか。	B	A
	8	事業を進めるにあたり状況の変化に応じて、協議しながら柔軟な対応ができたか。	C	B
	9	お互いの機能を生かし、必要に応じて市民への参画を呼びかけたか。	C	B
事業成果や波及効果	10	事業の成果目標は達成できたか。	C	B~C
	11	協働で事業推進することによって、単独で実施するよりも成果が上がったか。	C	B
	12	協働で事業推進することによって、組織にとって何か変化をもたらしたか。	B	B
	13	事業の結果(成果)などを広く情報提供したか。(予定がある場合も含む)	C	B~C
	14	市民自らが地域の課題解決に取り組む機運が芽生えるなど、従来よりも市民の参画機会が広がったか。	B	B
	15	経費の見積は適切だったか。	A	A
	16	トラブルが発生した際の準備や対応は適切に行われたか。	B	A
総合評価			C	B

「E: 該当しない」を選択した場合は、その理由を記入してください。

団体	
番号	理由

大学	
番号	理由

(様式1)

■成果と課題点【公開】

団 体	
協働することで成果があった点	課 題 点
<ul style="list-style-type: none">・大学という場所で、広場を開催する事が出来た事。・京都からの講師の回はとても満足度も高く、参加者も多かった。	<ul style="list-style-type: none">・使用した教室が分かりづらい。・赤ちゃんの音が響く。・教室までの道のりが長い。・話し合いなどがうまく出来ず、運営がうまくいかなかった事。

大 学	
協働することで成果があった点	課 題 点
<ul style="list-style-type: none">・参加する妊産婦さんの交流の場として活用してもらうことができた。	<ul style="list-style-type: none">・講座の開催について団体との連絡が上手く行われないことがあった。・講座の開催について計画通りに進められなかった。

ママパパベビーの場所 スロウ

令和元年度実績(12/1 現在)

NPO 法人子育てオーダーメイド・サポートこもも

実施期間:平成31年4月1日～令和元年12月1日

実施回数:5月～11月末まで22回

利用者数 95名

7月12日 京都宇治から迫先生を招いてだっことおんぶの講習会を行いました。

妊婦さんからこの日は1歳以上のお子さんをお持ちの方からも聞きたいと申し込みがあり、受け付けました。

みなさん、抱っこ紐やおんぶ紐の使い方が分からないだけではなく、体を痛めないだっこやおんぶの仕方を熱心に聞いていました。付け方を直してもらい「とても楽になった！」という方が続出でした。

この日からあとは、スタッフもおんぶだっこの形を見たり、楽な抱き方をレクチャーしています。



ここで初めて会った日にとっても仲良くなって、何度も一緒に遊びに来てくれました。
日常でも何度も会っていたようです。
ここで出会えてよかったとおっしゃっていました。

毎回、少しずつ産後の体操や楽な抱っこの仕方などを、参加者の方のリクエストで行いました。

